



## なぜあいさつをするのでしょうか？

先日、お客様から「早川小学校の子どもたちは、あいさつがよくできますね。どの子も自然にあいさつができるのはどうしてですか。」と、お褒めの言葉をいただきました。本校の育てたい児童の姿に、地域の人にも気持ちよくあいさつする子というものがあります。外部の方に褒めていただくと、今まで全職員で取り組んできたことの成果が表れているんだなとうれしい気持ちになりました。

### かしこい子

- ① 進んで学習する子
- ② 「なぜ、どうして」とよく考える子
- ③ 思いや考えを言葉で伝える子

### やさしい子

- ① 自分も友だちも大切にする子
- ② 相手の気持ちを考え仲良くする子
- ③ 人のために進んで行動する子

### 育てたい児童の姿

### たくましい子

- ① 進んで運動する子
- ② 失敗を恐れずチャレンジする子
- ③ あきらめずにやりぬく子
- ④ 健康や安全に気をつける子

### 地域の子

- ① 地域のよさを知っている子
- ② 地域の人にも、気持ちよくあいさつする子
- ③ 進んで地域行事に参加する子

児童会事務局の児童は、毎朝交代であいさつ運動に取り組んでいます。その子たちに「どうして君たちはあいさつをするの？」と聞いてみました。すると、少し考えてから「あいさつをすることで、相手を元気にすることができるから。」「あいさつを続けることで、その人と信頼関係が作れるから。」「ここに立ってあいさつをすれば、自分の顔を覚えてもらえる。もし、その子に何かあった時に声をかけてもらえるから。」と、相手のことを考えた優しい気持ちや人といい関係を作りたいという思いが伝わりました。自分も改めて大切なことを教えられた気がしました。この話を職員と共有し「これからも、心を込めたあいさつを大切にしていきたいと思います。」と、確認しました。



この時期、落ち葉が学校周辺の道にたまるので、近隣のご家庭に迷惑をかけないよう、朝のあいさつのついでに掃き掃除をしています。朝きれいにしても、次の日には同じように枯葉はたまります。ため息が出そうになります

が、めげずに枯葉を集めていると、たくさんの子から「いつもありがとうございます。」「みんなのためにきれいにしてくれてありがとうございます。これからもがんばってください。」と優しい声をかけてもらいました。早川小学校の子は本当にいい子だなとうれしくなります。子どもたちのその声に元気づけられたので、黄色く色づいてきたイチョウの大木もきれいだなと前向きに見ることができました。



## 二宮金次郎に思いをはせる

小田原市では、4年生が総合的な学習の時間を使って二宮金次郎について学びます。子どもたちは、学校の金次郎像を見て、「なぜ有名なのかな」と疑問を持ち、本やDVDを使ってその生い立ちや教えについて調べました。その後、栢山の尊徳記念館に出かけ、生家跡を見たり疑問を館長さんに質問したりしました。学習していく中



で、学校の金次郎像がなぜわらじを差し出しているのかわかりました。そして、自分たちも作ってみたいという思いを持ち、担任と一緒にわらじづくりを行いました。わらが手に入らないため、ナイロンロープを使って作りました。子どもたちは、完成したわらじを履いてうれしそうに歩きました。きっと、金次郎さんの思いをわらじとともに受け取ったんだろうなと思いました。担任は一連の学習を通して、金次郎の教えを難しいものとしてとらえるのではなく、自分たちの生活に結びつけていかしてほしいと願いを語ってくれました。



子どもたちは、パソコンを使って学習したことをまとめました。感想をいくつか抜粋して紹介します。「私が金次郎さんの教えで心に残ったのは積小為大です。将来の夢は看護師になることです。夢に向かって、毎日少しずつ努力していこうと思います。」「漢字も毎日一字ずつ覚えていくと、1か月で30字覚えることになるのでやってみようと思います。」「金次郎さんは自分のことを後回しにし

て、ほかの人のために立て直しをするなんてすごいと思いました。真心を込めると、信頼されるんだと思いました。」

子どもたちの感想を読み終え、心と金次郎像を見たくなり正門へ行ってみると、経年劣化のせいか像の右足が破損していることに気づきました。地域の皆さんの思いがこもった像なので、修復に向けた方策を探っています。よいお知恵がある方いらっしゃいましたらご連絡ください。



## 環境委員会の取り組み(樹木プレート)

先日、環境委員会の児童が校長室に訪ねてきました。話を聞いてみると、「学校のみんなや地域の人たちに、校内の樹木の名前を知ってもらいたいのので、名前のプレートを取り付ける活動をしたい。」ということでした。子どもたちは、まず桜の木を選びました。理由を聞いてみると、「校内にたくさん植えてあるし、春になるときれいな花を咲かせるから。」と話してくれました。校内に植えてある桜の木27本を一緒に見て回ったのですが、「こんなにたくさんあるんだ。」と少し驚いていました。校内の桜は、樹

齢を重ねた木が多く、幹が太くどっしりしているのですが、空洞化が進んでいる木もあり、台風等で倒れてしまうことが心配です。



委員長さんは、「卒業までにほかの木にも名前のプレートを付けていきたい。」と抱負を語ってくれました。

## SNSでのトラブルにご注意ください

ニュース番組を見ていると、オーストラリアで16歳未満の SNS 禁止の法案が可決されたことが報道されています。SNS は便利な反面、トラブルのもとになってしまうのは、どこの国でも同じようです。表情の見えない文字だけのコミュニケーションによるトラブル、なりすまみやネット上で知り合った人とのトラブル、誹謗中傷の書き込みなど、こんなはずではなかったという事態になってしまうこともまれではないようです。学校では、正しいネットの使い方教室や道徳での情報モラル教育など、トラブルに

巻き込まれないための指導をしていますが、十分ではありません。子どもたちだけに任せるのではなく、大人の見守りが必要だと思えます。小学生でも高学年になると多くの子がスマートフォンやタブレットで SNS を介して人とつながっています。こんなときだからこそ、家庭でのルールや SNS の使い方などをお子さんと確認していただければと思います。便利な道具を安全に使えるよう、よろしくをお願いします。

## 野生動物にご注意ください。

先月号でイノシシの目撃情報についてお知らせしましたが、今度は学校周辺でのサルが目撃情報が寄せられました。新聞等の報道では、県内を150km移動してきているようです。サルは気性が荒いため、対応には注意が必要です。子どもたちにも伝えていますが、小田原市環境保護課によるとサルを見かけたら次の4つに気を付けるとよいそうです。

- 1 大声を出さない(びっくりさせてしまいます)
- 2 目を合わせない(怒らせてしまうことがあります)
- 3 追いかけてまわさない(襲われることがあります)
- 4 エサをあげない(いつまでもほしがります)

もしご自宅付近でサルやイノシシなどの野生動物を目撃した際には小田原市環境保護課(33-1481)に連絡するとともに学校へもご一報ください。

## 交通事故にご注意ください

警察署に確認したところ、小田原管内では10月末までに489件の交通事故が起こっているそうです。子どもが巻き込まれる事故も31件起きています。学校では、交通安全教室を実施するとともに、次のような注意をしています。ご家庭でも交通安全の大切さについて改めて子どもたちに話してあげていただければと思います。

- 1 自転車に乗るときには不具合がないか確認し、ヘルメットをかぶってから走る
- 2 交差点などを渡るときには、左右や前後を確認してから渡る
- 3 自転車の乗り方や横断歩道の歩き方など、おうちの人と交通ルールの確認をする

学校ホームページはこちらからスマートフォンでも見やすくなりました。

